

# 長野市子ども・子育て支援に関する アンケート調査

## (その他・自由意見)

1

### 調査の概要

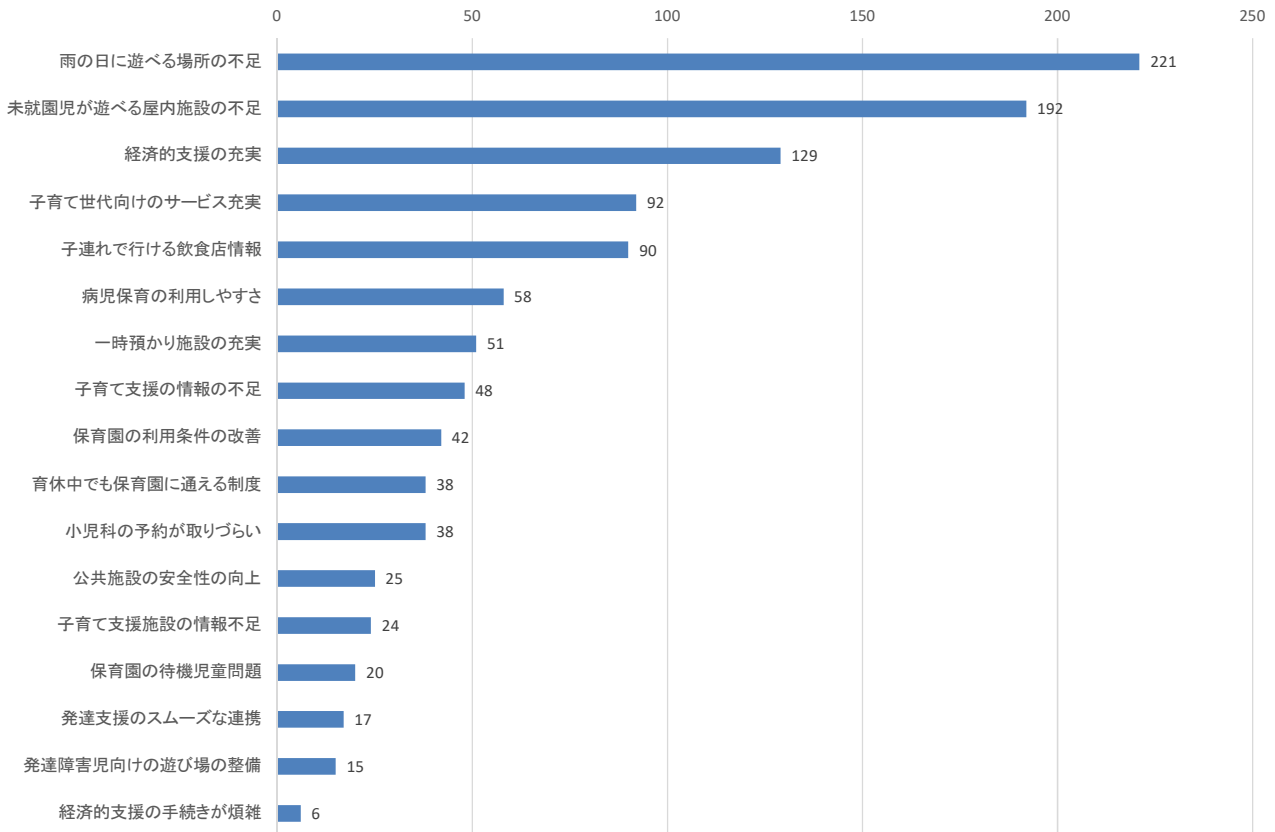
- 調査対象:市内在住の就学前児童の保護者 4,000人  
市内在住の小学校1～3年生の保護者 2,000人
- 抽出方法:住民基本台帳(令和6年2月1日現在)から無作為抽出
- 調査方法:WEB回答によるアンケート調査方式
- 調査期間:令和6年3月14日～令和6年3月26日

### ○回収結果

	就学前児童の保護者	小学校1～3年生の保護者
有効(送達)標本数	3,985通	2,000通
無効(未送達)標本数	15通	0通
回収標本数	2,051通	965通
回収率	51.5%	48.3%
自由意見	944件	411件

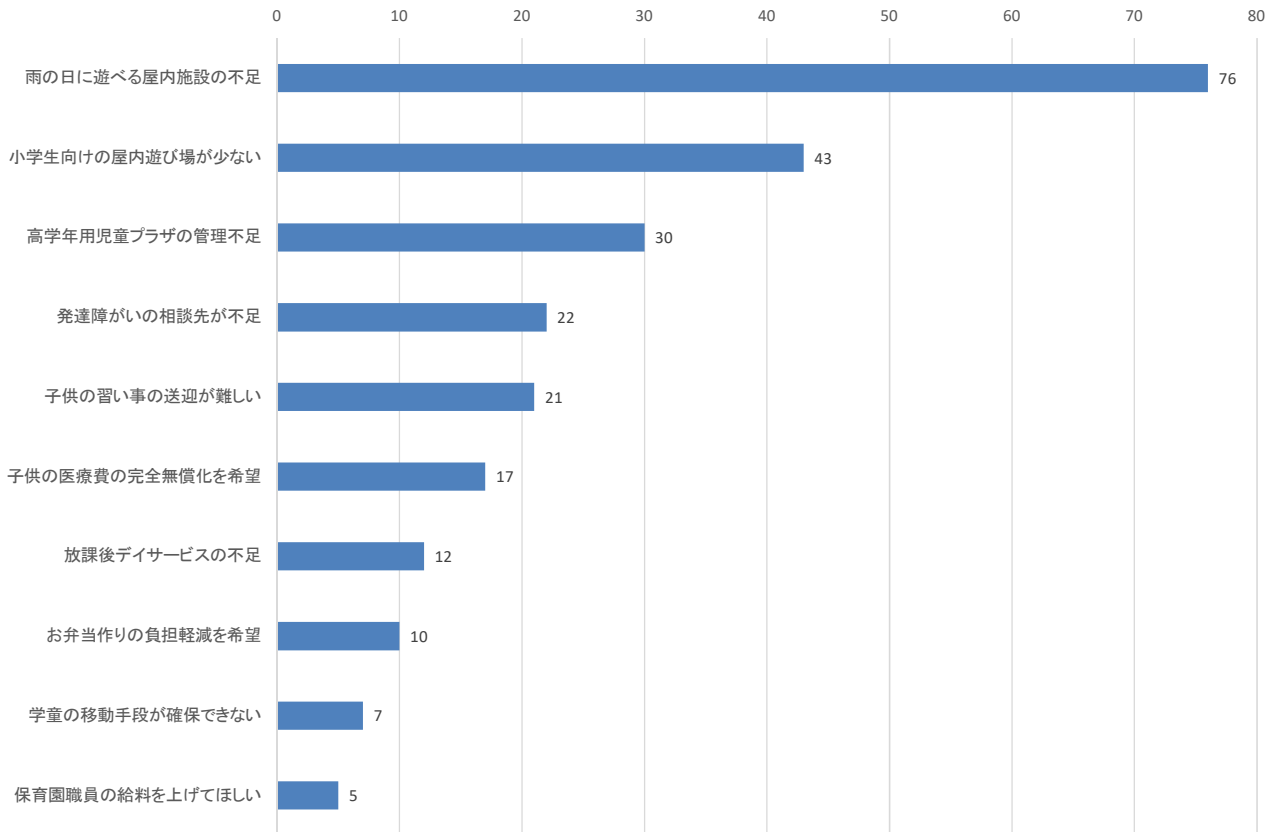
2

## 自由回答まとめ（就学前児童の保護者）



	具体的な意見
雨の日に遊べる場所の不足	天気の良い日に気軽に遊びに行ける室内施設が無い。商業施設ばかりで支出がかさんでしまう。室内施設でも子供が体を動かせる所がほしい。
	屋内で子供が遊べる施設がじゃんけんぽん以外にない。悪天候だと家で遊ばせるしかなく、親も子も選択肢がなくなってしまう。特に2歳までの間は外遊びが難しい年代なので、ぜひ屋内で遊べる施設を沢山作って欲しい。
	全天候型の屋内施設(比較的規模の大きいもの)が欲しいです。夏オープン予定のながのこども館に期待していますが、未就園児が安心して安全に遊べる場所が増えたら嬉しいです。
未就園児が遊べる屋内施設の不足	2、3歳の動けるようになってきた幼児の遊び場所がない。児童館など日中は未就園児に開放して欲しい。公的施設、図書館、子育て支援センターなど複合的な施設があるとありがたい。
	じゃんけんぽんのような施設の、もっと大きくてもう少し大きい子がいろんな経験ができる施設が欲しい。
経済的支援の充実	子育てを優先すると経済的に困窮するのが分かっているので、周りの人達は子どもを望んでも多子世帯にはならないように人生設計しています。第2子、第3子は贅沢です。育休を取れ、でも金は少なくなるし途中までしか面倒見ないよ。という制度を頼りに子育てをすることに無理がある。期間の延長の方が重要。働き手がないから育休を長引かせたくないのが見える。
	兄弟の多い家庭以外(一人っ子や二人兄弟など)にも手当ての増額や何か支援があるとありがたいです。近くなかなか頼れる方がいない場合に預かってもらえる施設は金銭的に余裕がないとなかなか気楽に預けられないので、もう少し家計に優しい金額で安全性もある施設が増えるといいなと思います。
病児保育の利用しやすさ	保育園に病児保育を設置して欲しい。子育て支援センターも大事だが病児保育までの距離 1日2000円は貧困世帯には厳しい。
小児科の予約が取りづらい	子どもが病気の時に、受診できる病院に限られていて困っています。近所のかかりつけの病院は、熱があると受診できません。車で25分の発熱外来のある病院は、前日の夜6時以降に予約表に名前を書かないと受診できません。
	小児科は感染症が流行してからほぼ予約制になりました。喘息や免疫疾患など基礎疾患がある子供もいます。そういうお子さんでも小児科に診てもらうのは簡単ではないのです。医療費500円はありがたいですが、簡単に医者にかかるようになった分、医療機能がパンクしているのではないのでしょうか。
発達障害児向けの遊び場の整備	発達障害のある子への世間の理解。多様性を受け入れる意識を広めることが必要だと思う。どこに遊びに行っても定型発達の子にいつも気を遣うし遠慮してしまう。もっと遊びに行きやすい場所がほしい。

## 自由回答まとめ（小学生の保護者）



	具体的な意見
雨の日に遊べる屋内施設の不足	室内で、食事もできて、子供が思い切り遊べる遊具などがある施設が長野市にもっと欲しいです。（猛暑日や大雪の日などに遊べるところがなくて困ります）
	無料で利用できる児童館（パーキングも含める）。雨天時でも子供達が遊べる場所。プラネタリウム、児童館、図書館などが一緒になっている施設。
	こども広場の小中学生版。保健センターなど施設を土日にも利用できるようにする。
	屋内で遊べる施設に限られていて、利用料金もかさむため、気軽に利用できる施設が増えると嬉しい。
小学生向けの屋内遊び場が少ない	小学生向けの、室内の遊び場（アスレチック）雨天、雪荒天の日に遊びに行く場がない。
	小学生も行けるような小学生バージョンの支援センター的なものがあると、すごく助かります。
	小学生の利用できる屋内の遊び場がほとんどありません。少年科学センターの後にできる施設に期待していますが、もっと日常的に利用できる支援センター的な役割の施設が欲しいです
	小学校に入ると土曜日でも預かってもらえるセンターやプラザが少ないと思う。今は共働きや曜日を関係なく働いている人が多いので、そういった面でも子育てと仕事が両立できる環境作りをもっとしてほしい。
高学年用児童プラザの管理不足	上の子が児童センターを利用させていただいたが、終了時間が保育園よりも早い、18時というのは如何なものか。小学校に入学したとしても、親の就労時間は変わらないのだから、同様にせめて18:30までにさせていただきたい。
	子どもプラザに行っていますが、長期休暇の場合、朝は8:00からしか行けず、また送りが必要なため、仕事開始の8:30にはいつもギリギリになってしまう。開始時間を検討いただきたい。
発達障がいの相談先が不足	こどもには発達特性があり、保育園で園訪問の発達相談、保健所の発達相談を受けました。小学校へ進学するときに情報の引き継ぎはして頂いたように思いますが、保健所の発達相談から病院の紹介ではなく、その後の福祉支援などにも繋がっていませんでした。小学校のスクールカウンセラーに相談して、その後病院受診、診断、となりました。保健所の発達相談から病院、福祉支援までエスカレーター式につながっていると、親としては助かります。
子供の習い事の送迎が難しい	フルタイムで働くと、子どもの習い事の送り迎えができなくなり、習い事を続けることができなくなる。（実家の援助がないので。）送迎サービスなどがあるとありがたい。
お弁当作りの負担軽減を希望	長期休み中の児童センター、プラザで希望制で有料でもなんでもいいので子供の昼ごはんを出して欲しい。毎朝仕事もある中お弁当を用意するのが負担。